(3)　水平出力管

使用時期	水平出力管	Tube-番号
1960(S35)～1962(S37)	6FV5	*-493*
1960(S35)～1966(S41)	6DQ5	*-494*
1962(S37)～1965(S40)	12G-B7	*-319*
1963(S38)～1965(S40)	35FV5	*-495*
1963(S38)～1965(S40)	26DQ5	*-496*
1964(S39)～1966(S41)	16G-B16	*-497*
1964(S39)～1969(S44)	25E5×2(パラレル)	*-314*
1965(S40)～1969(S44)	6JS6A	*-498*
1965(S40)	6G-B7	*-328*
1965(S40)～1970(S45)	23JS6A	*-499*
1966(S41)～1969(S44)	29KQ6	*-347*
1966(S41)～1970(S45)	31JS6A	*-500*
1967(S42)～1968(S43)	29LE6	*-501*
1967(S42)～1971(S46)	30KD6	*-502*
1967(S42)～1970(S45)	40KD6	*-503*
1968(S43)	21KQ6×2(パラレル)	*-504*
1968(S43)～1969(S44)	6KD6	*-505*
1968(S43)	16C-B28	*-348*
1968(S43)～1970(S45)	40KG6A	*-506*
1969(S44)～1970(S45)	21JS6A	*-507*
1969(S44)	21JS6A,23JS6A	*-507,-495*

(参考管)

使用時期	型　名	Tube-番号	使用回路
―	40KG6A/PL509	*参考-18*	水平出力管

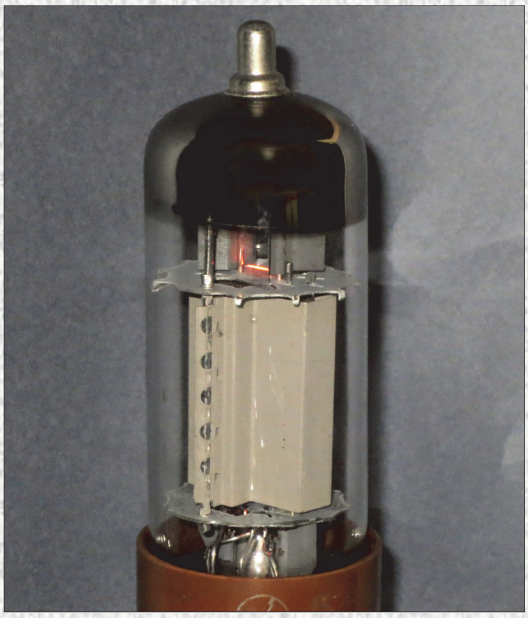
Tube- 493：　*6FV5*

サンプル・メーカー	松下電器産業（National）	外形番号	GT38-02
使用時期	1960(S35)～1962(S37)	初期使用機種	松下電器産業（K21-10）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕×If〔mA〕	6.3×1.67A

特徴：水平出力ビーム管、プレート損失=15W,ピークプレート耐逆電圧=(正)7,500V,(負)1,500V,
Gm=21,000μmho,ウォームアップタイム=規定無

経緯：欧州名:**EL136**,**35FV5**同等、松下電器産業が国産化、（ナショナル真空管・トランジスタハンドブック,1962）

一部拡大



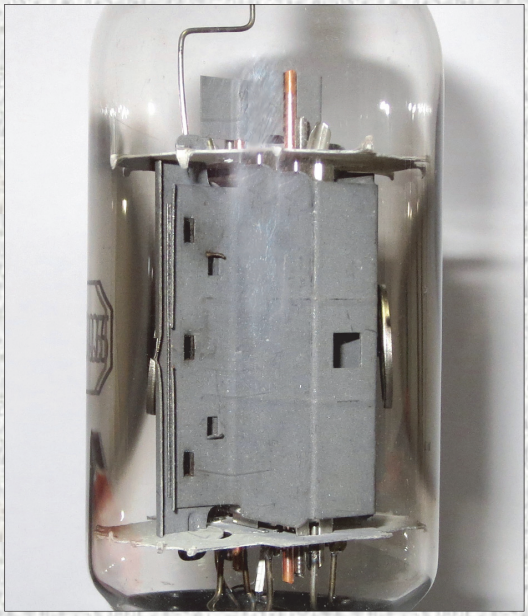
通電状態

Tube- 494：　*6DQ5*

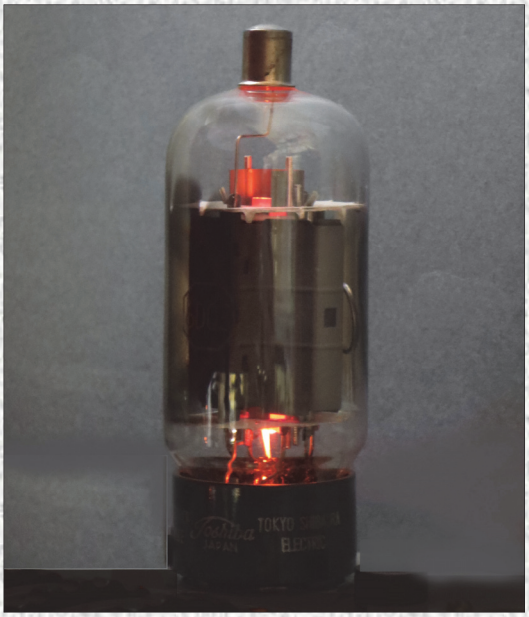
サンプル・メーカー	東京芝浦電気（Toshiba）	外形番号	GT38-19
使用時期	1960(S35)～1966(S41)	初期使用機種	日立製作所（CS-160）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕× If〔mA〕	6.3×2.5A

特徴：水平出力ビーム管、プレート損失=24W,ピークプレート耐逆電圧=(正)6,500V,(負)1,100V,
Gm=10,500μmho,ウォームアップタイム=規定無

経緯：**26DQ5**同等、（東芝電子管ハンドブック,1960）

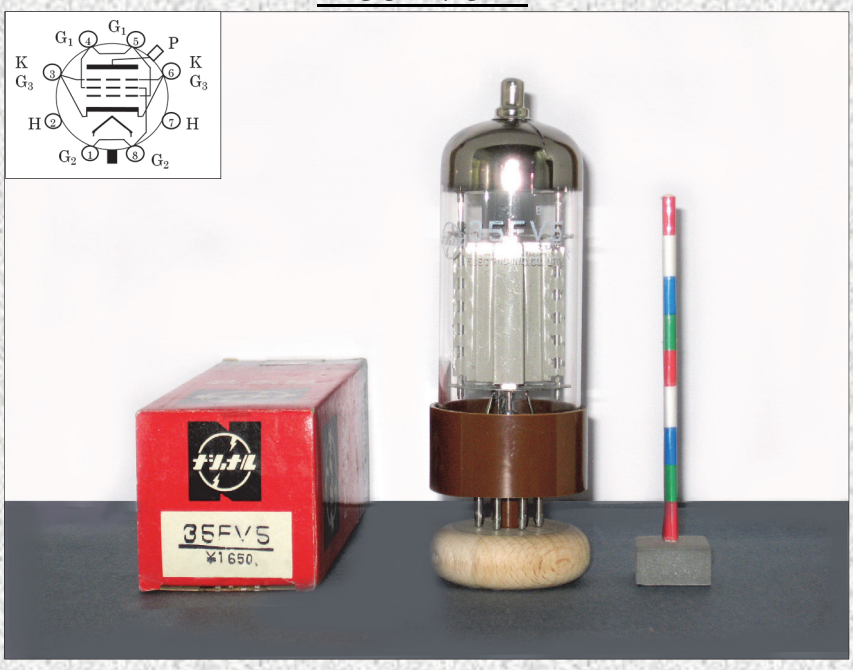


一部拡大



通電状態

Tube- 495：　*35FV5*



サンプル・メーカー	松下電器産業（National）	外形番号	GT38-29A
使用時期	1963(S38)～1965(S40)	初期使用機種	松下電器産業（TK-36D）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕×If〔mA〕	35.0×300

特徴：トランスレス用水平出力ビーム管、プレート損失=15W,ピークプレート耐逆電圧=(正)7,500V,(負)1,500V,Gm=21,000μmho,ウォームアップタイム=規定無

経緯：欧州名:**PL136**,**6FV5**同等、松下電器産業が国産化、（ナショナル真空管・トランジスタハンドブック,1962）

一部拡大

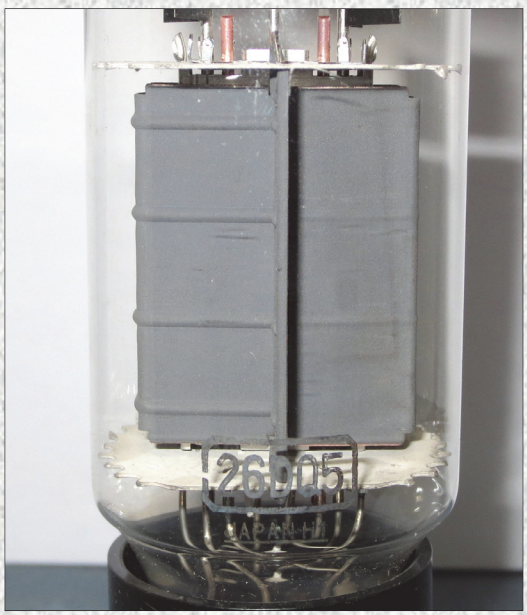
通電状態

Tube- 496：　*26DQ5*

サンプル・メーカー	早川電機工業（シャープ）	外形番号	GT38-19
使用時期	1963(S38)～1965(S40)	初期使用機種	早川電機工業（CV-1601）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕× If〔mA〕	26.7×450

特徴：水平出力ビーム管、**6DQ5**同等、ウォームアップタイム=11秒

経緯：（東芝電子管ハンドブック,1960）



一部拡大

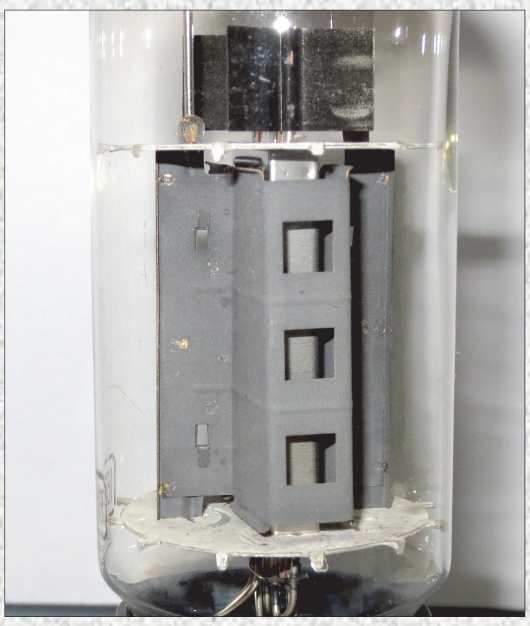
通電状態

Tube- 497: *16G-B16*

サンプル・メーカー	日立製作所（Hitachi）	外形番号	GT38-02
使用時期	1964(S39)～1966(S41)	初期使用機種	日立製作所（CS-600）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕× If〔mA〕	16.0×600

特徴：水平出力ビーム管、プレート損失=24W,ピークプレート耐逆電圧=(正)6,500V,(負)1,000V,
Gm=15,000μmho,ウォームアップタイム=11 秒

経緯：1962(S37)年に日立製作所で開発。（Hitachi Electron Tube Hand Book,1963）



一部拡大

通電状態

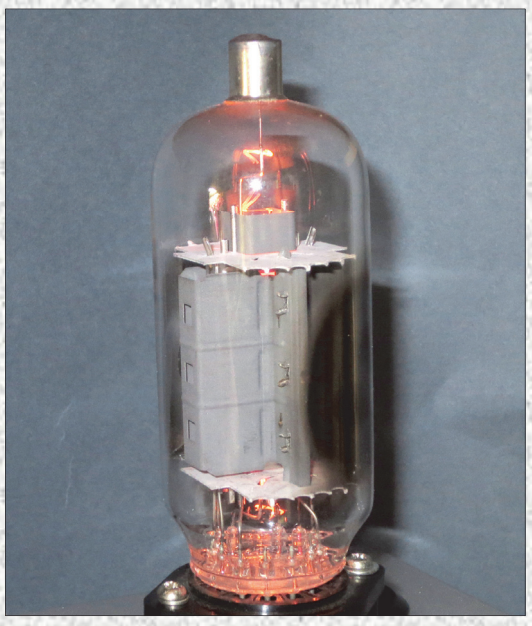
Tube- 498：　*6JS6A*

サンプル・メーカー	東京芝浦電気（Toshiba）	外形番号	コンパクトロン,C38-89
使用時期	1965(S40)～1969(S44)	初期使用機種	三洋電機（16-CT60）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕× If〔mA〕	6.3×2.25A

特徴：水平出力ビーム管、プレート損失=28W,ピークプレート耐逆電圧=(正)7,500V,(負)1,100V,
Gm=11,300μmho,ウォームアップタイム=規定無

経緯：**21JS6A,23JS6A,31JS6A**同等、（東芝電子管ハンドブック,1969）

一部拡大



通電状態

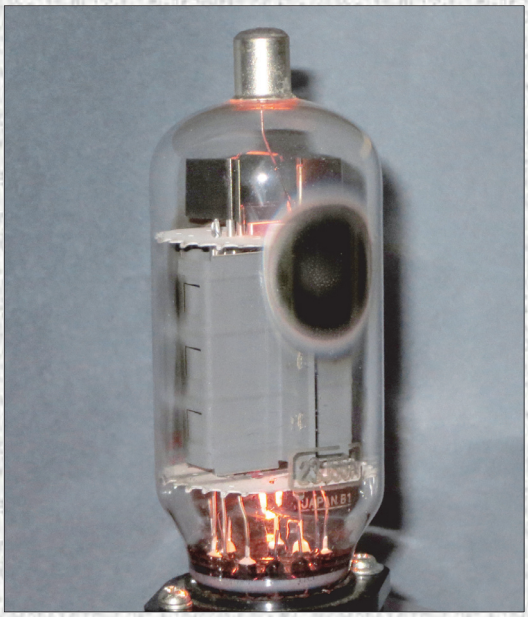
Tube- 499：　*23JS6A*

サンプル・メーカー	三菱電機（MITSUBISHI）	外形番号	コンパクトロン,C38-89
使用時期	1965(S40)～1970(S45)	初期使用機種	三菱電機（19CK-650）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕× If〔mA〕	23.6×600

特徴：水平出力ビーム管、**6JS6A**同等、プレート損失=28W,ウォームアップタイム=11秒

経緯：**6JS6A,21JS6A,31JS6A**、同等、（東芝電子管ハンドブック,1969）

一部拡大



通電状態

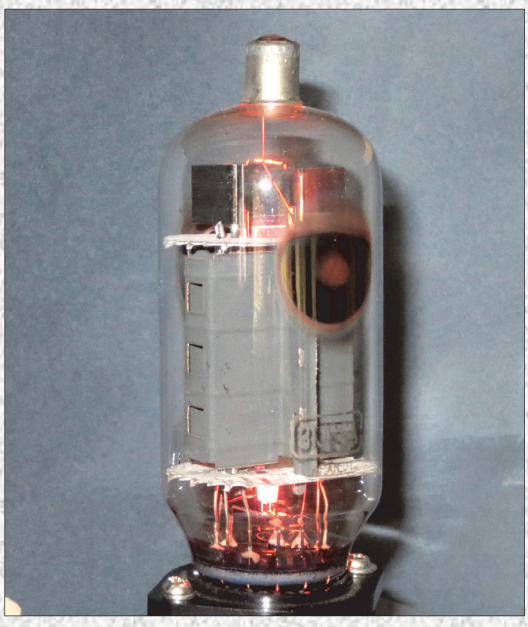
Tube- 500：　*31JS6A*

サンプル・メーカー	日立製作所（Hitachi）	外形番号	コンパクトロン,C38-89
使用時期	1966(S41)～1970(S45)	初期使用機種	日本コロムビア（19CL9）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕×If〔mA〕	31.5×450

特徴：水平出力ビーム管、**6JS6A**同等、プレート損失=28W,ウォームアップタイム=11秒

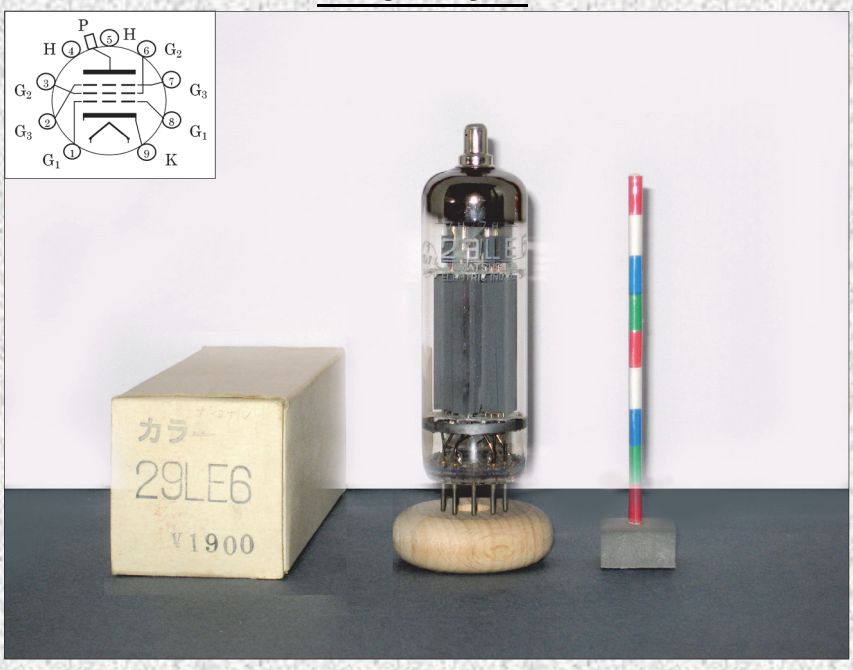
経緯：**6JS6A,21JS6A,231JS6A**、同等、（東芝電子管ハンドブック,1969）

一部拡大



通電状態

Tube- 501：　*29LE6*



サンプル・メーカー	松下電器産業（National）	外形番号	マグノーバル,T-29
使用時期	1967(S42)～1968(S43)	初期使用機種	松下電器産業（TK-50D）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕×If〔mA〕	29.0×300

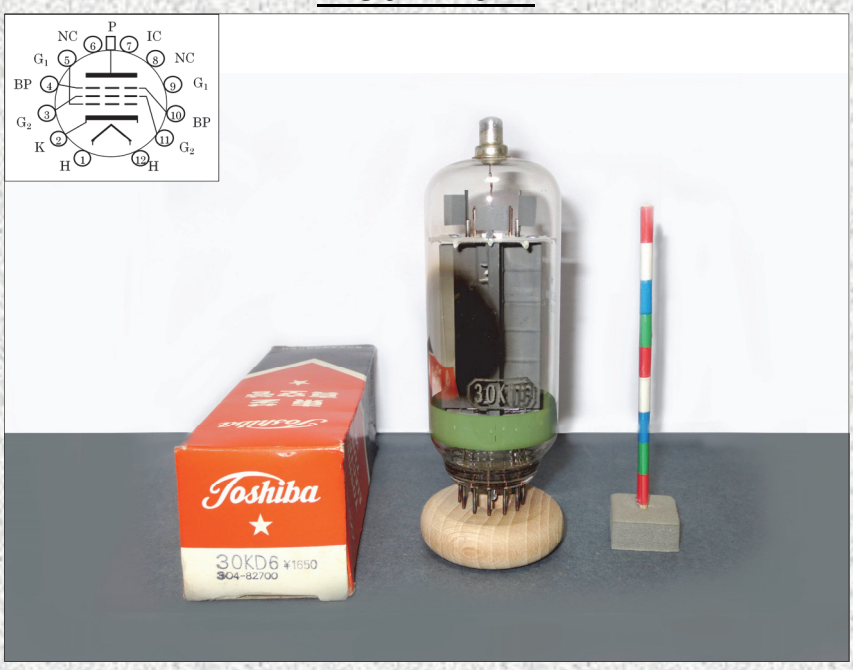
特徴：水平出力ビーム管、プレート損失=20W,ピークプレート耐逆電圧=(正)6,500V,(負)1,650V

経緯：**29KQ6**の後継管として開発された、（RCA Receiving TUBE Manual,1975）

一部拡大

通電状態

Tube- 502：　*30KD6*



サンプル・メーカー	東京芝浦電気（Toshiba）	外形番号	コンパクトロン,C38-119
使用時期	1967(S42)～1971(S46)	初期使用機種	東京芝浦電気（16WH）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕×If〔mA〕	30.0×600

特徴：水平出力ビーム管、プレート損失=33W,ピークプレート電圧=(正)7,000V,第2グリッド損失=5W（上部フィン）,Gm=14,000μmho,ウォームアップタイム=11秒、ピン「BP」はビームプレートの略

経緯：**6KD6,40KD6**同等、1966(S41)年頃にGEで生産された。（東芝電子管ハンドブック,1969）

一部拡大

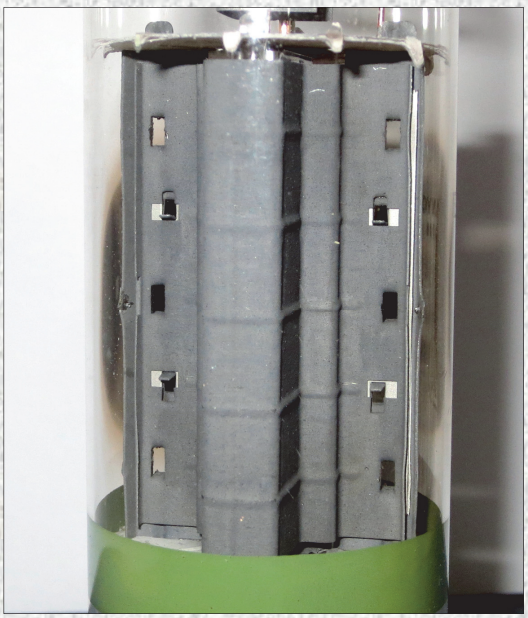
通電状態

Tube- 503：　*40KD6*

サンプル・メーカー	三洋電機（SANYO）	外形番号	コンパクトロン,C38-119
使用時期	1967(S42)～1970(S45)	初期使用機種	日本コロムビア（16CW5）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕×If〔mA〕	40.0×450

特徴：水平出力ビーム管、プレート損失=33W,ピークプレート電圧=(正)7,000V,第2グリッド損失=5W（上部フィン）,Gm=14,000μmho,ウォームアップタイム=11秒、ピン「BP」はビームプレートの略。

経緯：**6KD6,30KD6**同等、1966(S41)年頃にGEで生産された。（東芝電子管ハンドブック,1969）



一部拡大

通電状態

Tube- 504：　*21KQ6*

サンプル・メーカー	松下電器産業（National）	外形番号	マグノバー,T-29
使用時期	1966(S41)～1968(S43)	初期使用機種	日本ビクター（12P-36）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕×If〔mA〕	21.5×450

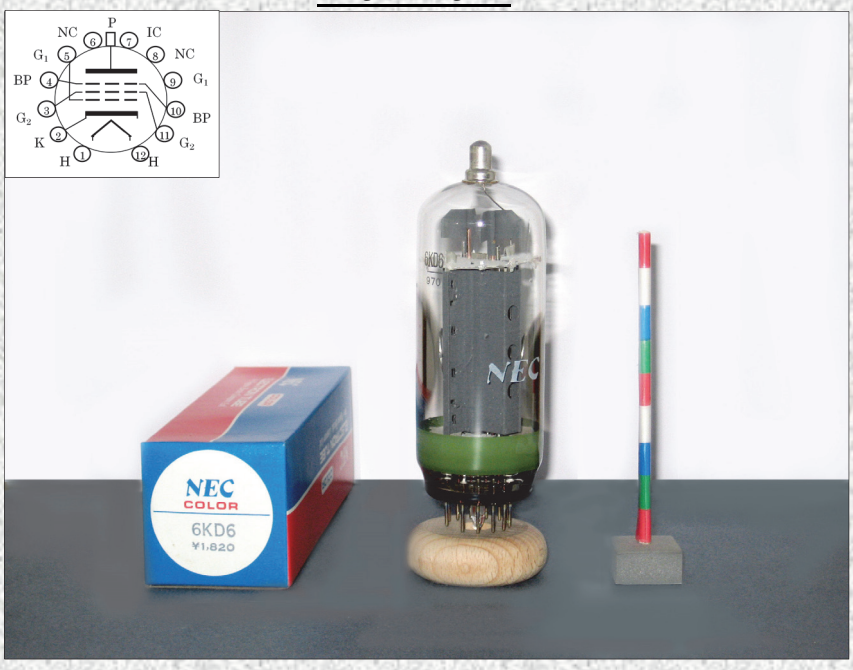
特徴：水平出力ビーム管、プレート損失=17W

経緯：欧州名:**LL521**、**29KQ6** 同等、（ナショナル真空管ハンドブック,1966）

一部拡大

通電状態

Tube- 505：　*6KD6*

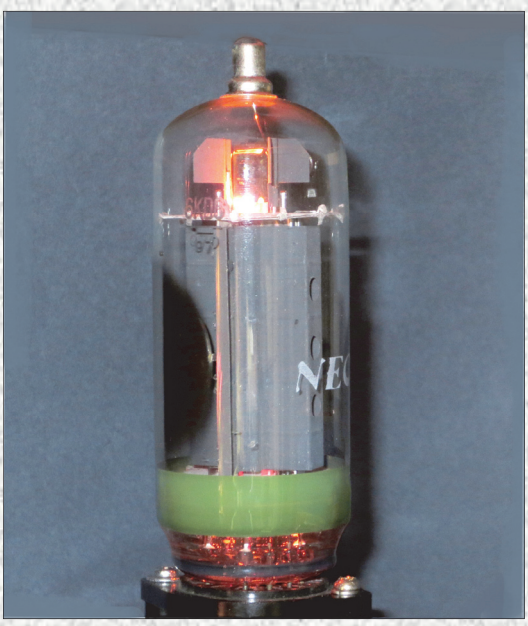


サンプル・メーカー	新日本電気（NEC）	外形番号	コンパクトロン,C38-119
使用時期	1968(S43)～1969(S44)	初期使用機種	三洋電機（19-CT8800）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕×If〔mA〕	6.3×2.85A

特徴：水平出力ビーム管、プレート損失=33W,ピークプレート電圧=(正)7,000V,第2グリッド損失=5W（上部フィン）,Gm=14,000μmho,ウォームアップタイム=規定無、ピン「BP」はビームプレートの略

経緯：**30KD6,40KD6**同等、1965(S40)年にGEで生産された。
（東芝電子管ハンドブック,1969）、（GE PRODUCT INFORMATION,1967）

一部拡大



通電状態

Tube- 506：　*40KG6A*

サンプル・メーカー	松下電器産業（National）	外形番号	マグノーバル,T-29
使用時期	1968(S43)～1970(S45)	初期使用機種	松下電器産業（TK-1100D）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕× If〔mA〕	40.0×300

特徴：水平出力ビーム管、プレート損失=40W,ピークプレート電圧=(正)7,000V,

経緯：欧州名:**PL509**、1968(S43)年に松下電器産業で製作、（RCA Receiving TUBE Manual,1975）

一部拡大

通電状態

Tube- 507:　*21JS6A*

サンプル・メーカー	東京芝浦電気（Toshiba）	外形番号	コンパクトロン,C38-89
使用時期	1969(S44)～1970(S45)	初期使用機種	シャープ（19C-T1）
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕×If〔mA〕	21.0×600

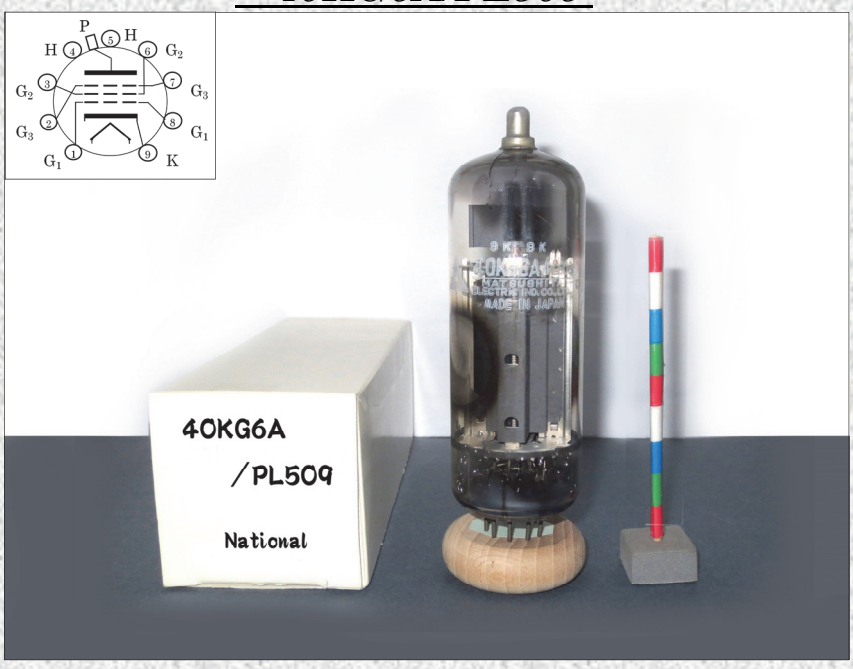
特徴：水平出力ビーム管、**6JS6A**同等、ウォームアップタイム=11秒

経緯：**6JS6A,23JS6A,31JS6A**、同等、（東芝電子管ハンドブック,1969）

拡大（グリーンベルト付）

通電状態

参考- 18：　40KG6A/PL509

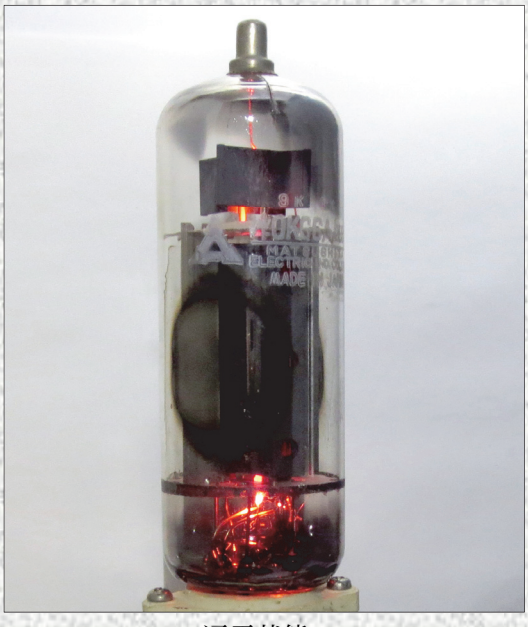


サンプル・メーカー	松下電器産業（National）	外形番号	マグノーバル管,T-29
使用時期	―	初期使用機種	―
使用回路	CTV:水平出力	Ef〔V〕× If〔mA〕	40.0×300

特徴：水平出力ビーム管、プレート損失=40W,ピークプレート電圧=(正)7,000V

経緯：欧州名:**PL509**、1968(S43)年に松下電器産業で製作。（RCA Receiving TUBE Manual,1975）

一部拡大



通電状態